
今日のまおーさま

ぎるばと

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

今日のまおーさま

【Nコード】

N3820Q

【作者名】

ぎるばと

【あらすじ】

ある日、車に轢かれて死んだ（多分）僕が転生してまったり生きるファンタジーな世界の物語。

…多分

転生って奴ですか？

車にはねられたっばい。

雨の強い日だったし、徒歩の僕はライト持ってたわけだなし。そりゃーもう、見えづらかった事だろう。

…そこまでは理解出来る。理解出来るんだが…

「だか…って…しょ…げきあつ…ろくに…ひ…逃げとか…」

まるで痛みを感じない。感じるのは雨より冷たい自分の体温。

あー…駄目だな、こりゃ…

飲酒運転でもしてたのか僕を轢いたあと加速して交差点に進入、映画みたいにクラッシュした車を見て、ざまあ、と言。

それが氷河期に生きた高校生な僕の遺言だった…

ハズだった。

…おや？と思う。

肌に感じるのは暖かな風。死んだと思ったのに助かったんだろうか？

目を開ける。

視界に入るのは緑、緑、緑。僅かな可能性だった病院に連れてかれて助かったというのも無いらしい。周りを緑に囲まれた病院はあっても天井も壁も床もない所は建物とは呼ばない。

腕を上げる。

カチャ、と音をたてて持ち上がる腕。何故か鎧を着ているらしい僕は鎧をはずそうと腕を引っ張る。

すぽっ！

「…………？」

鎧の…籠手でいいのかな？それを引っ張ると軽い音で取れた。取れたんだけど…

「…………？」

あれ？腕が見えない。籠手はずしたのに腕が見えない。籠手の外れた腕を覗く。

「……………！？」

無い！？中身無いよ！？アル君！？ハガレンのアル君になっちゃったの！？

ガチャガチャ！ガチャガチャ！

「…」

むう…しばらく慌てたら落ち着いてきたぞ。落ち着いたら落ち着いてきたでやりたいことが…えいっ！

すぽっ！

「…」

ぐりーん…ぐりーん…

「…！」

やっぱり簡単に外れた頭を両手で持ち一周回すと視界も一周。おいえー、これがアル君の視界なのですね！貴重体験ですな、これからずっと体験するだろうけどね！

…ちなみに外れたままでも腕を動かせたので勿論やりましたよ、アダムスファミリー。

アル君が羨ましいです

森の中であれやこれや試しているといい加減飽きてきたので移動したいと思います。ちなみに判明したことは…

・腕、頭は外れたけど足は駄目。

・見た目ゴツい。てか子供泣く、絶対泣く。アル君みたいな可愛い外見が…ん？アル君そんな可愛くないか？

・周りに剣と盾が刺さってました。神様からのプレゼントだと思って貰っておきます。鎧と同じく怖いけど。握ると何だか喜んでる気がするけど！

で、最後に一番大事な事実が。

この体、喋れません。

まあ、中身無いのに喋れるアル君達がおかしいのはわかってるんだけとね！だからって骨格も筋肉も無いのに動けてるんだからそれくらいサービスしてくれてもいいと思うんだ！

…くすん、いいもん、負けないもん。

とぼとぼと肩を落としてつつ森を歩く。思えばあちらに向かったのは偶然では無かったのだと思う。

…あまり、認めたくない事実ではあったが。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3820q/>

今日のまおーさま

2011年1月28日11時37分発行